

## ■ 交通渋滞緩和に向けた時差出勤の役割

### <トリップ※数の変化> ※目的を持ってある地点からある地点へ移動する単位

- 熊本都市圏の人口はほぼ横ばいの中、総トリップ数は**減少傾向**

2012年: 275.3万トリップ/日  
2023年: 233.5万トリップ/日 **約15%減少**

### <朝ピーク時間帯の変化>

- 1日の総トリップに占める朝ピーク時間帯(7~9時)の割合が**わずかに増加**

⇒熊本都市圏におけるトリップ割合は午前7~9時がピーク

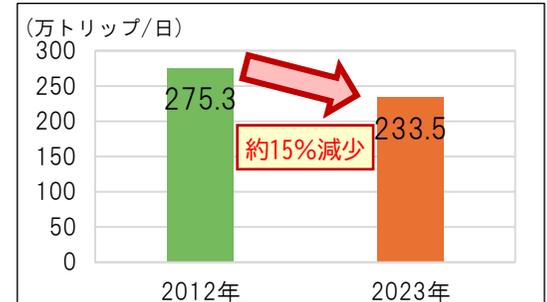
2012年: 12.0%  
2023年: 14.3% **2.3ポイント増加**

総トリップ数は減少しているが、依然として交通は朝ピーク時間帯(午前7~9時)に集中

すぐに着手できる取組みとして、

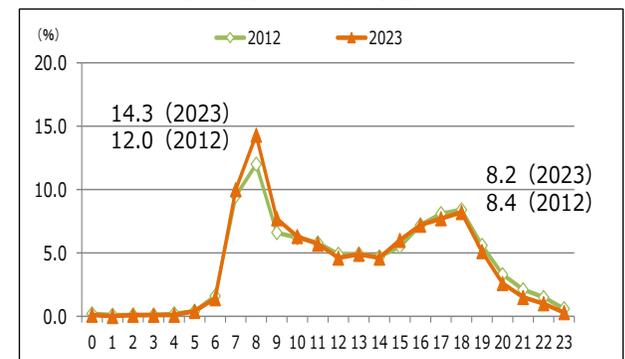
時差出勤の推進により**朝ピーク時間の交通量を分散**させることで、交通渋滞の緩和が期待できる

▼都市圏総トリップ数(日あたり)



※熊本都市圏総合交通計画協議会第5回委員会資料より抜粋

▼着時刻※分布(割合) ※目的地への到着時刻



※熊本都市圏総合交通計画協議会第5回委員会資料より抜粋

## ■ 熊本県・熊本市職員の時差出勤や在宅勤務等への集中的な取り組み

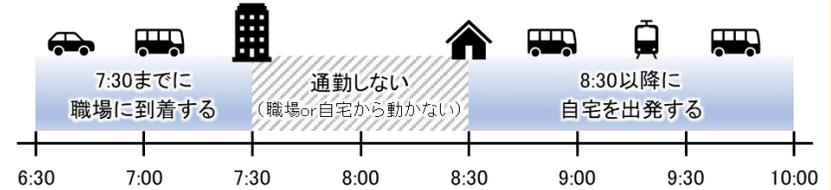
### <取り組みの概要>

期間 9/2(月)～30(月)

対象 熊本県・熊本市職員

内容 朝ピーク時間帯(7:30～8:30)を避けた時間に通勤

目的 渋滞解消対策としては、朝ピーク時に集中する交通量を分散するソフト面の対策も重要  
朝ピーク時の交通量を減らし、オフピークにリバランスすることで交通渋滞の緩和に繋げる



### <実施結果>

実施人数 **1日平均4,086人**(目標値:4,000人/日) ※このほか肥後銀行及び九州フィナンシャルグループで**610人**が実施

#### 参加職員による取り組みへの評価

- ・交通量が多少緩和され、通勤時間が短縮された
- ・バス利用時に座席に座れるようになりストレスが減った
- ・時差出勤や在宅勤務を利用しやすい職場風土になり、多様な働き方を選択できるきっかけになった

## ■ 県職員の車両台数の変化をもとにした効果分析

### <分析の考え方>

- ・県職員の自動車通勤台数1,222台のうち、**時差出勤等を実施した台数は711台**
- ・各交差点の県職員台数は、通勤ルートから推計
- ・各交差点の交通量は、県庁方面へ向かう車線の令和6年9月の平日(18日間)の平均値
- ・県庁周辺的主要な交差点の朝ピーク時間帯(7:30～8:30)の交通量の変化を検証

## ■ 熊本県・熊本市職員の時差出勤や在宅勤務等への集中的な取り組み

### <県庁付近交差点の車両通過台数の変化>



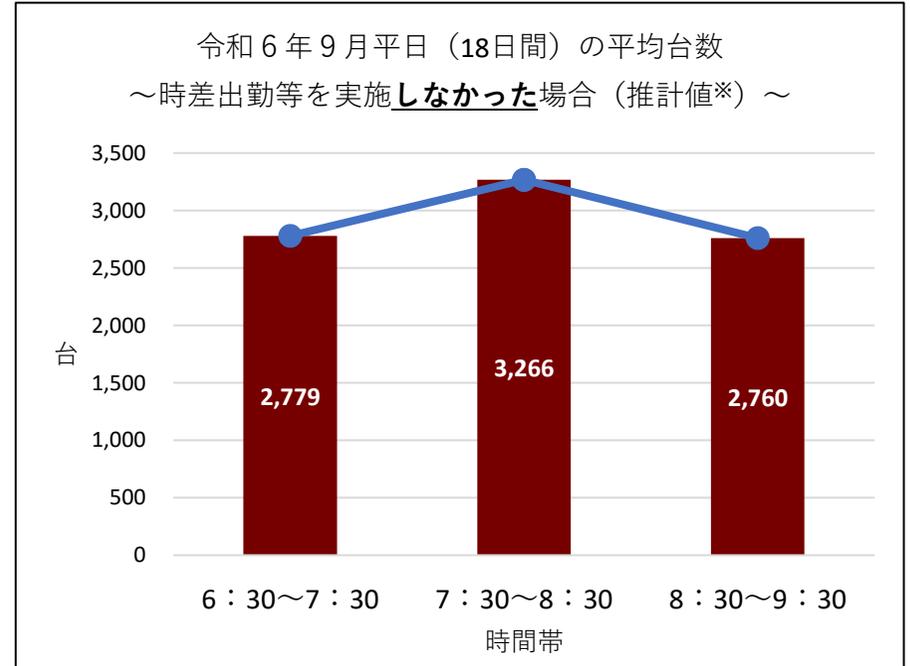
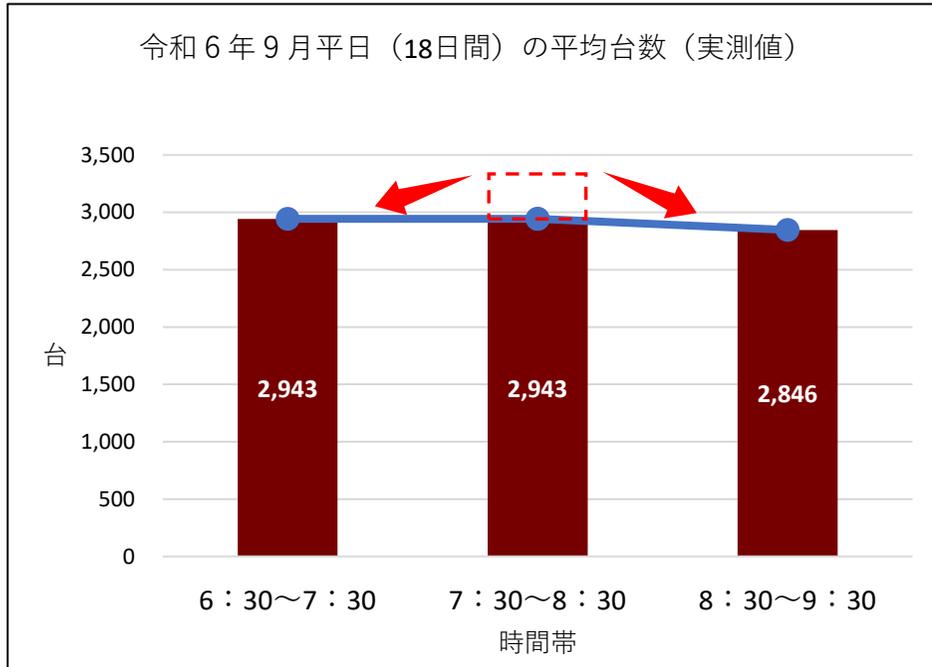
- 神水交差点: **約11%の減少** (280台減少)
- 県庁通り入口交差点: **約10%の減少** (323台減少)
- 保田窪北交差点: **約7%の減少** (261台減少)

**今回の時差出勤等の実施により県庁付近の主な交差点における、県庁方向に向かう車線の朝ピーク時間帯(7:30~8:30)において、交通量の減少が確認された**

※時差出勤実施状況調査及び県警所有の交通量データから各交差点を通過したと思われる職員の車両台数を推計

## ■ 熊本県・熊本市職員の時差出勤や在宅勤務等への集中的な取り組み

### <県庁通り入口交差点(県庁に向かう2車線)の車両通過台数の変化>



時差出勤等の実施により、朝ピーク時間帯の自動車台数が減少し“平準化”された

- ◎ 時差出勤等の実施により、7:30~8:30の交通量は323台(10%)減少
- ◎ 時間帯別には6:30~7:30に164台、8:30~9:30に86台が分散、在宅勤務等により73台が減少

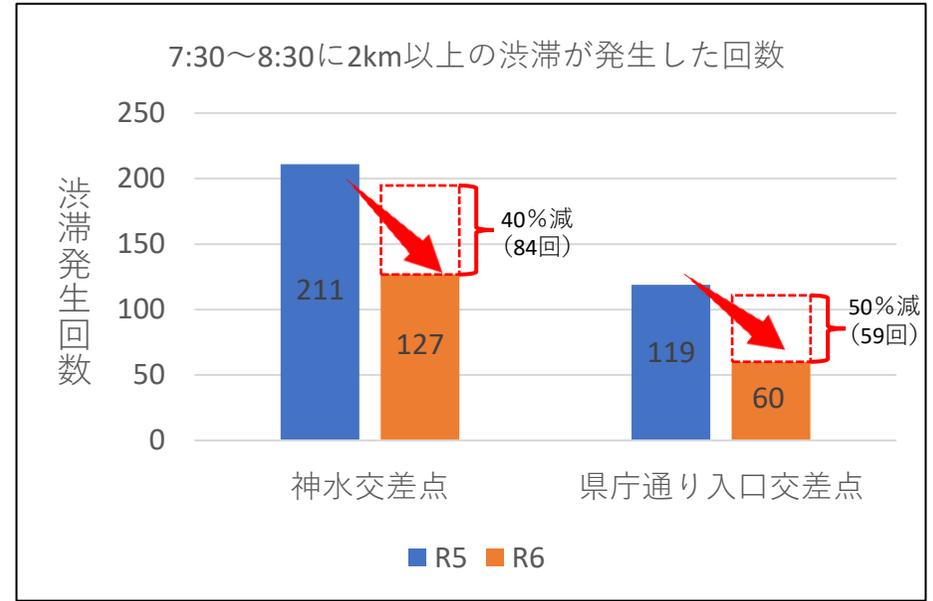
※推計値

実測値に時差出勤等を実施した県職員の車台数323台を通常勤務時の通勤時間帯である7:30~8:30に上乗せ  
在宅勤務等の73台を除き、上乗せした県職員の車台数分を勤務区分に応じて6:30~7:30の実測値から164台、8:30~9:30の実測値から86台差し引いた

## ■ 熊本県・熊本市職員の時差出勤や在宅勤務等への集中的な取り組み

### <2km以上の渋滞※発生回数の比較(7:30~8:30の1時間、18日間合計)>

※時速20km以下で走行している自動車が連なった状態



- 神水交差点: **約40%の減少** (211回→127回:84回減少)
- 県庁通り入口交差点: **約50%の減少** (119回→60回:59回減少)
- 保田窪北交差点: R5年度及びR6年度共に発生無し(前後交差点を起点とする渋滞はあり)

**今回の時差出勤等の実施により県庁付近の主な交差点における、県庁方向に向かう車線の朝ピーク時間帯(7:30~8:30)において、渋滞回数の減少が確認された**

※出典: 県警所有の交通量データ

■ 時差出勤の県民運動化



1万人の



オフピーク通勤!!

みんなで取り組む“渋滞解消”

渋滞知らずで快適通勤!

柔軟な働き方で仕事も暮らしも充実!

- 渋滞解消に取り組む企業等を登録する「熊本県渋滞対策パートナー登録制度」を創設
- 令和7年度は、官民一体となった1万人規模でのオフピーク通勤を実現する想定